

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第1区分
 【発行日】平成28年5月19日(2016.5.19)

【公開番号】特開2013-242298(P2013-242298A)
 【公開日】平成25年12月5日(2013.12.5)
 【年通号数】公開・登録公報2013-065
 【出願番号】特願2013-71040(P2013-71040)
 【国際特許分類】

G 0 1 N 33/68 (2006.01)
 G 0 1 N 33/50 (2006.01)
 G 0 1 N 33/53 (2006.01)
 C 1 2 Q 1/68 (2006.01)
 C 1 2 N 15/09 (2006.01)

【F I】

G 0 1 N 33/68 Z N A
 G 0 1 N 33/50 P
 G 0 1 N 33/53 V
 C 1 2 Q 1/68 A
 C 1 2 N 15/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年3月23日(2016.3.23)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

診断対象者から採取した生体由来試料における、デコリン遺伝子の発現を測定するステップaと、

測定結果として得られた該遺伝子の発現量に基づいて、テガフル、ギメラシル、およびオテラシルカリウムの3成分を有効成分として配合した抗癌剤(以下、S-1と略称する)の投与効果を判定するステップbと、

を含むS-1化学療法における投与効果判定方法。

【請求項2】

前記ステップaでは、上記遺伝子の産物であるタンパク質量を測定することを特徴とする請求項1記載のS-1化学療法における投与効果判定方法。

【請求項3】

前記ステップaでは、上記遺伝子のmRNA量を測定することを特徴とする請求項1記載のS-1化学療法における投与効果判定方法。

【請求項4】

前記生体由来試料は、S-1化学療法を施行する前に採取した生体由来試料であることを特徴とする請求項1記載のS-1化学療法における投与効果判定方法。

【請求項5】

前記生体由来試料は、癌患者から採取した生体由来試料であることを特徴とする請求項1記載のS-1化学療法における投与効果判定方法。

【請求項6】

前記生体由来試料は、頭頸部扁平上皮癌患者、食道扁平上皮癌患者、または肺扁平上皮癌

患者から採取した生体由来試料であることを特徴とする請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の S - 1 化学療法における投与効果判定方法。

【請求項 7】

S - 1 化学療法を施行する前に頭頸部癌患者から採取した生体由来試料において、デコリンタンパク質の発現を測定するステップ a と、
測定結果として得られたデコリンタンパク質の発現量に基づいて、S - 1 の投与効果を判定するステップ b と、
を含む S - 1 化学療法における投与効果判定方法。

【請求項 8】

S - 1 化学療法を施行する前に頭頸部癌患者から採取した生体由来試料において、デコリンタンパク質の発現を抗デコリンタンパク質抗体を用いた免疫組織学的染色により測定するステップ a と、
測定結果として得られた免疫組織化学的染色 (I H C) スコアのカットオフ値として 1 1 9 を用い、S - 1 の投与効果を判定するステップ b と、
を含む S - 1 化学療法における投与効果判定方法。

【請求項 9】

診断対象者から採取した生体由来試料における、デコリン遺伝子の発現を測定するステップと、
測定結果として得られた該遺伝子の発現量に基づいて、5 - フルオロウラシル (5 - F U) を有効成分として配合した抗癌剤の投与効果を判定するステップと、
を含む抗癌剤化学療法における投与効果判定方法。